

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	りのきっず			
○保護者評価実施期間	令和7年11月6日		～	令和7年11月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数)	30名
○従業者評価実施期間	令和7年11月10日		～	令和7年11月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	.	1か月ごとに現在行っている活動を見直し、何を目標に行っているかの再確認、活動の再検討ができています。	目標に対して、多様な方法でアプローチができるように、職員のレベルアップができる学習会や、意見交換の場を増やしていく。
2	個別の目標設定をファイルにし、職員が見る事ができるようにしていることで、こどもに対しての目標の情報共有ができています。	目標を箇条書きにしわかりやすく書いている。余白を作り現在の状況を書けるようにしている。	決まった職員が記載することが多いので、意見を聞く機会を増やし記載していく。
3	活動プログラムを年間で決める事により、円滑に進める事ができている。	長期休暇の時などは、その時にしかできない事を取り入れたり、季節に応じた制作を行う事で、季節の学習にもつなげている。	プログラム内容をもっと充実させるために、様々な事業所や、学校等からもヒントを得ながら行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながりを持つことができていない	地域の方々と関わる機会を作る事ができていない。外出になると職員が1対1必要になり、日程を組むことも難しい。	来ていただく事や、室内での交流等がないのか探して見る等の工夫を考えてみる。
2	就業前、卒業後の事業所とのつながりがほとんどない。	相談員さんとの繋がりはあるが、そこで完結してしまっていて、それ以上の関りが持てていない。	相談員さんを通して繋がっていくきっかけを積極的に作ったり、卒業後の進路先へ情報共有を行っていききたい。また、外部研修等で、他事業所との交流を深めていきたい。
3	家族支援の機会を提供することができていない。	保護者の意見をまだまとめる事ができておらず、実施することが出来ていない。	外部講師に来てもらうなども検討しながら、保護の方が興味のある内容の選択等を検討していききたい。